

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（5月）

令和5年5月16日
三八地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 生育の状況

管内のは種最盛期は平年並の4月16日であった。

5月15日現在の管内の田植え進捗率は、8.0%（平年4.0%）であった。

(2) 今後の対策・指導等

適正な育苗管理を行う。

適期に田植えを行う。

適期に除草剤を散布する。

2 小麦

(1) 生育の状況

5月10日の調査では、草丈は56cmで平年並、 m^2 当たり茎数は453本で平年より109本少なかった。

出穂期は、平年より4日早い5月14日であった。

表1 5月10日調査結果

調査地点：八戸市市川町

年次	播種日	草丈(cm)	茎数(本/ m^2)	出穂期
本年	10月2日	56	453	5月14日
平年	9月29日	56	562	5月18日
前年	10月7日	43	415	5月19日

※平年は、H26～R4の平均値

品種：ネバリゴシ

(2) 今後の対策・指導等

開花始め～開花期と、その1週間後の2回赤かび病防除を行う。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育の状況

春掘り作業は、若干残っているが、5月15日頃で概ね終了と見込まれる。

トレンチャー耕、土壌消毒等作業が順次進められ、植付け作業も順調に行われている。

種子が不足している生産者は、小種子や切いもで対応している。

(2) 今後の対策・指導等

植え溝に土壌水分が十分ある時に植え付ける。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

定植作業は順調に行われ、生育は全般に順調である。

(2) 今後の対策・指導等

病害虫の適期防除を行う。

定植作業は畝の崩れ防止と活着促進のため土壌水分のある時に行う。

ほ場の乾燥が強い場合は、かん水するか葉面散布剤を活用する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

草丈・生葉数・茎径は平年を上回っており、生育が進んでいる。

病害虫では、さび病が目立っており、春腐病が発生している。ネギコガの発生は見られていない。

4月中旬から5月上旬の乾燥等による影響により葉先枯れが目立つほ場が見られる。

(2) 今後の対策・指導等

病害防除は、降雨前の薬剤散布を徹底する。特に、さび病が発生しているほ場では、下葉にも十分かかるように丁寧に散布する。

種子ほ場を中心に、ウイルス症状株の抜き取りやマーキングを実施する。

表2 にんにく生育調査結果（5月10日：20株調査）

場所	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片分化期	草丈 (cm)	生葉数 (枚)	茎径 (mm)
五戸 (上兎内)	本年	白玉王	10月1日	グリーン	4月9日	77.6	8.5	21.8
	平年比		—	—	11日早い	114%	102%	112%
	平年		9月29日	—	4月20日	68.1	8.3	19.5
	前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月17日	78.6	9.1	21.1
旧倉石 (又重)	本年	在来種	9月26日	グリーン	4月10日	76.7	8.5	20.2
	平年比		—	—	11日早い	114%	109%	108%
	平年		10月1日	—	4月21日	67.5	7.8	18.7
	前年	在来種	9月28日	グリーン	4月18日	73.9	9	19.2
新郷 (扇ノ沢)	本年	福地ホワイト	10月6日	グリーン無穴	4月11日	75.3	8.4	21.1
	平年比		—	—	10日早い	117%	109%	118%
	平年		10月4日	—	4月21日	64.4	7.7	18.0
	前年	在来種	9月30日	グリーン無穴	4月19日	71.1	8.6	19.7
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	10月2日	グリーン	4月10日	77.1	9.0	20.0
	平年比		—	—	12日早い	119%	115%	111%
	平年		10月6日	—	4月22日	64.7	7.8	18
	前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月19日	75.5	8.7	19.8

表3 にんにく病害虫等調査結果（5月10日：100株調査）

場所	春腐病	さび病	欠株	二本立ち
五戸	0%	48%	2%	0%
旧倉石	0%	93%	0%	5%
新郷	0%	0%	1%	3%
田子	0%	26%	2%	0%

※調査株では春腐病はなかったが、調査区外では春腐病の発生があった(五戸、旧倉石、新郷)。

4 いちご（一季成り）

(1) 生育の状況

「とちおとめ」は、草高 40.7cm であった。観測しているハウスでは、現在、収穫中である。

「よつぼし」は、草高 37.8cm であった。病害虫はオンシツコナジラミが少発生となっている。観測しているハウスでは、現在、着果～収穫中である。

表5 生育調査結果（令和5年5月9日現在）

品種名	年度	定植	草高 (cm)	葉柄長 (cm)	小葉長 (cm)	小葉幅 (cm)
とちおとめ	本年 (平年比)	8月26日 (3日遅い)	40.7	32.1	10.4	7.9
	平年	8月23日	-	-	-	-
	前年	8月23日	-	-	-	-
よつぼし	本年 (平年比)	9月3日 (4日遅い)	37.8	28.1	8.8	7.0
	平年	8月30日	-	-	-	-
	前年	8月26日	-	-	-	-

(2) 今後の対策・指導等

枯葉・収穫後の果房を摘除する。ハダニ類、オンシツコナジラミ、アザミウマ類、うどんこ病の防除を徹底する。

5 土壌くん蒸剤「クロルピクリン」の使用について

クロルピクリンの使用に際しては、使用者自身と近隣住民の健康のために、以下の注意事項の遵守を徹底する。

- ・土壌くん蒸剤用防護マスクなどの保護具を身につける。
- ・ガスが近隣の住宅や家畜舎、田畑、井戸、河川に流れ込まないように、風向きに注意する。
- ・周辺住民に事前に使用日時と使用者等の連絡先を、時間的余裕をもって幅広く周知する。
- ・被覆しないと有効成分のガスが抜け、防除効果が落ちる。また、近隣住民や環境に悪影響を与える恐れもあることから、必ず厚さ0.03mm以上のシートや難透過性資材で被覆する。

6 農作業安全

農業機械の操作を行う際は、周囲の安全確認や、ヘルメット着用などの事故予防対策に留意すること。また、思わぬトラブルが発生した場合には、まずエンジンを停止させること。